

**製品名: IRF1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe02171**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.53mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 37 kDa; Observed MW: 48 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	IRF1
別名	IRF1; Interferon regulatory factor 1; IRF-1
遺伝子 ID	3659
SwissProt ID	P10914
免疫原	ヒト IRF1 の組み換えタンパク質

**背景**

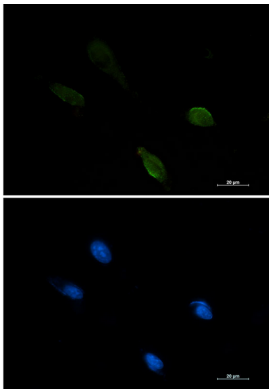
I型インターフェロン（IFN）および IFN 誘導性 MHC クラス I 遺伝子上流調節領域（インターフェロンコンセンサス配列（ICS））

に特異的に結合し、これらの遺伝子を活性化します。腫瘍抑制因子として作用します。IRF1 の欠陥は胃癌 (GASC) [MIM:613659]の原因であり、胃癌 (腸管型胃癌または胃癌とも呼ばれます) とも呼ばれます。胃癌は胃で発生し、食道や小腸に転移し、胃壁を越えて近くのリンパ節や臓器に進展する悪性疾患です。また、体の他の部位に転移することもあります。

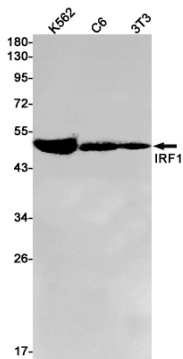
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

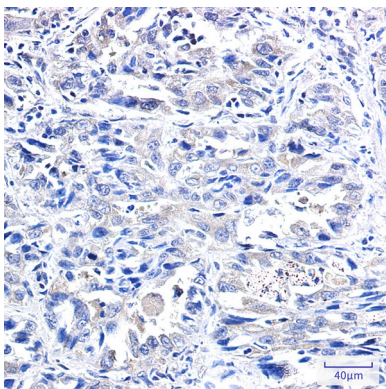
## 画像データ



IRF1 抗体と DAPI (青) を使用した U87-MG における IRF1 (緑) の免疫細胞化学分析。



IRF1 抗体を使用した K562、C6、3T3 溶解物中の IRF1 のウエスタンブロット分析。



IRF1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。